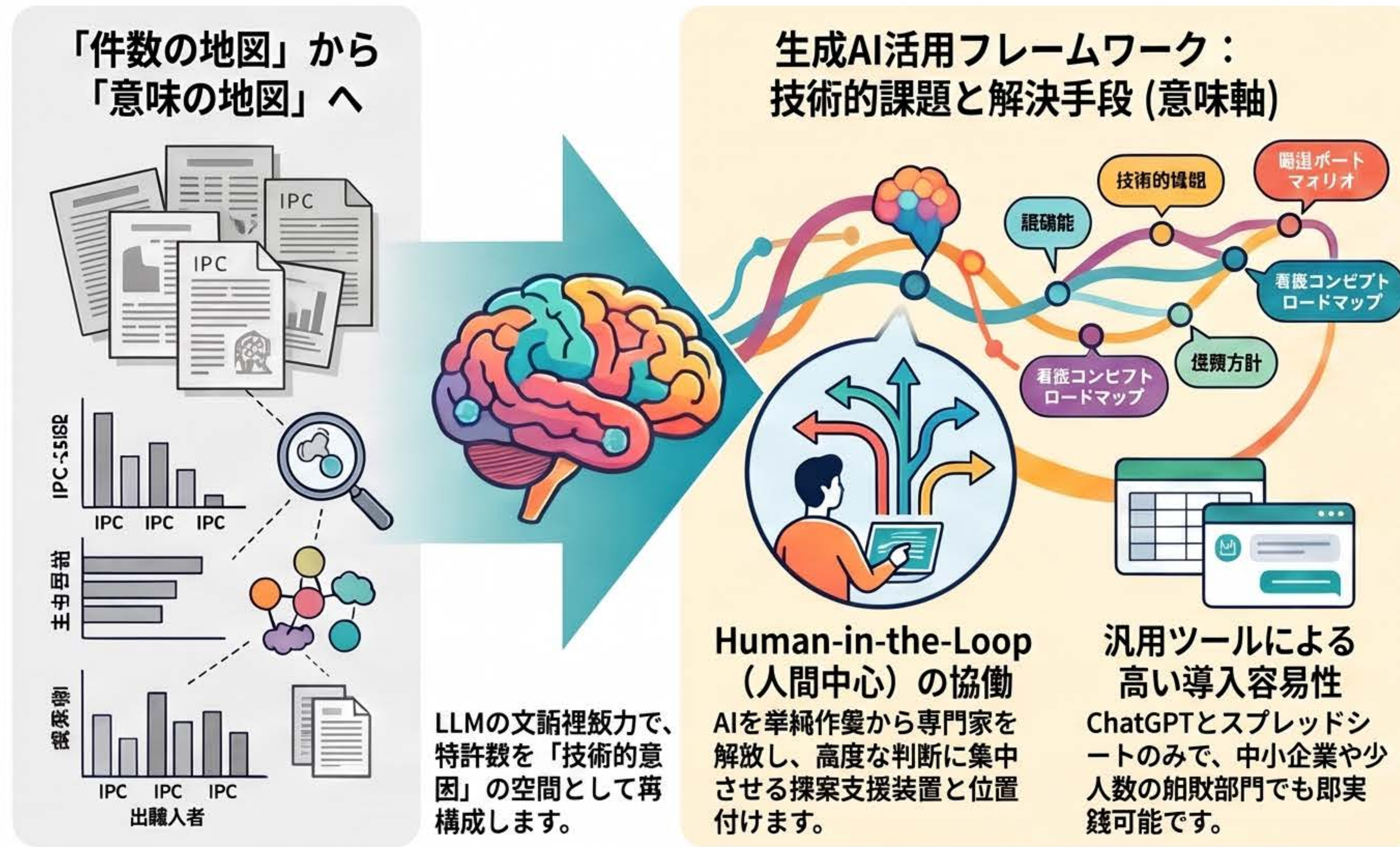


生成AI×特許分析：特許を「読む」から「事業を構想する」へ

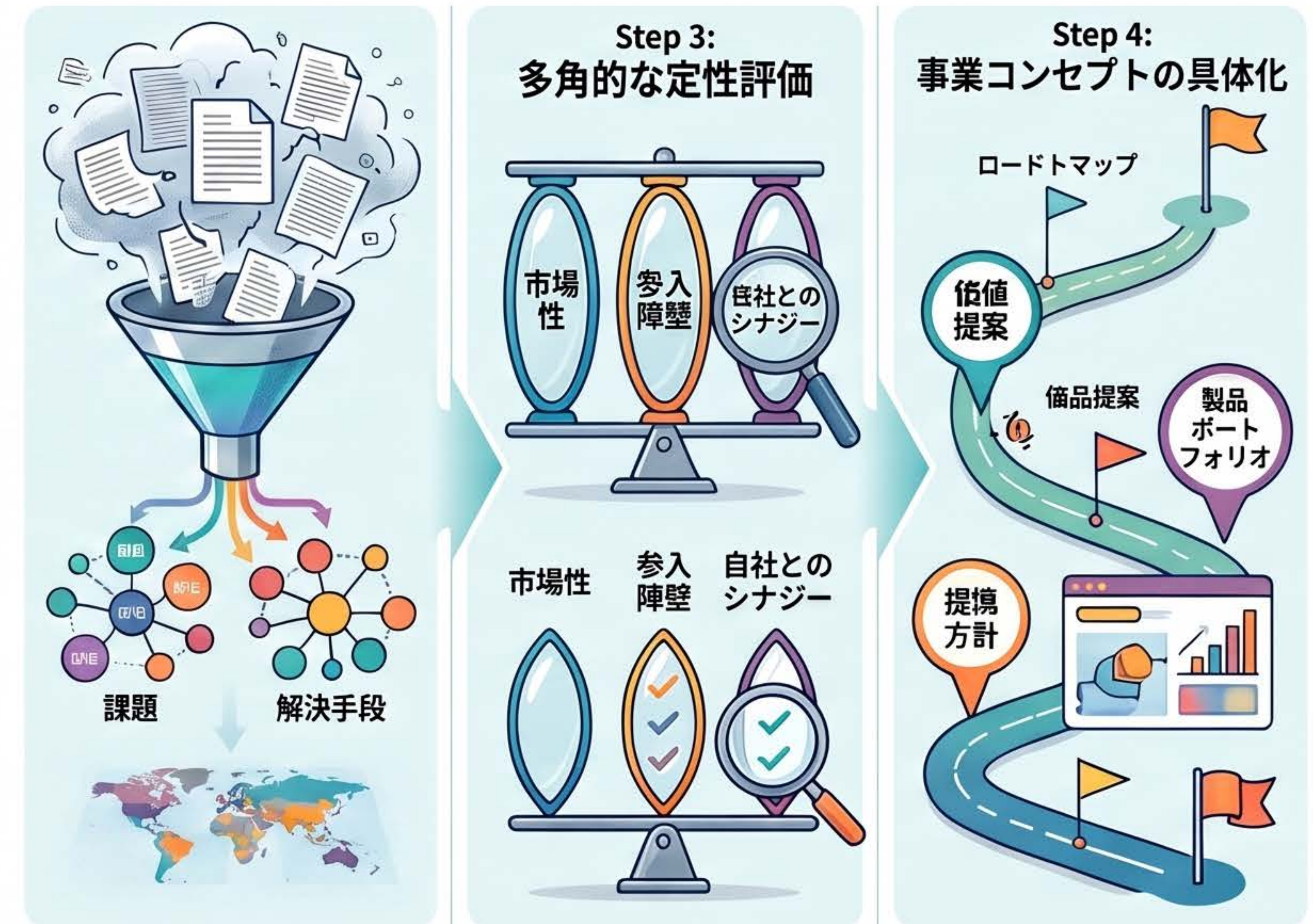
Goal：生成AIを活用して特許情報を「過去の技術整理」から「将来の事業戦略」へと転換させる、一気通貫のフレームワークを提示する。

価値の転換：パテントマップの進化



比較項目	パテントマップ	生成AI活用フレームワーク
分析の軸	IPC・出願人等の書誌情報	技術的課題と解決手段（意味軸）
主な目的	技術動向の客観的俯瞰	事業仮説の形成と戦略立案
成果物	統計グラフ・公報リスト	事業コンセプト・ロードマップ

戦略的決定を生む4ステップ・フロー



Step 1 & 2: 構造化とマクロ分析

非構造的な特許テキストから課題と解決手段を抽出し、有望領域の分布を勘観します。

Step 3:

多角的な定性評価

市場性、参入障壁、自社とのシナジーを専門家の視点で評価し、優先順位を決定します。

Step 4: 事業コンセプトの具体化

価値提案、製品ポートフォリオ、提撰方針を含む実行可能なロードマップを策定します。